

令和2年度(第6回)葉山町総合計画審議会 会議録

- ◇ **開催日時** 令和3年3月 25 日(木) 14 時 00 分より 16 時 00 分
- ◇ **開催場所** 葉山町役場 3階 議会協議会室1
- ◇ **出席者** 臼井正樹会長、三澤直樹委員、守谷寿浩委員、
高梨麻美委員、早川隆子委員
- ◇ **欠席者** 荒本広之委員、南森生委員、福安德晃委員、近藤大輔委員
- ◇ **事務局** 伊藤政策財政部長、佐野政策課長、大前係長、碓野主任
- ◇ **議員傍聴** 0名
- ◇ **傍聴者** 0名
- ◇ **議 題**
 - 1 開会
 - 2 議題
 - (1) 第四次葉山町総合計画後期基本計画について
 - (2) 令和2年度第5回総合計画審議会議事録について
 - (3) 令和元年度第四次総合計画実施事業の振り返り結果について
 - (4) 令和元年度葉山町まち・ひと・しごと創生総合戦略(具体的施策)の進捗状況について
 - (5) 第2期葉山町人口ビジョン まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)について
 - (6) その他
 - 3 閉会
- ◇ **資 料**
 - 令和2年度第6回葉山町総合計画審議会 次第
 - 令和2年度第5回審議会会議録(案) (資料1)
 - 第四次総合計画実施事業の振り返り結果(令和元年度) (資料2)
 - 葉山町まち・ひと・しごと創生総合戦略(具体的施策)の進捗状況表
ー令和元年度の振り返りー (資料3)
 - 第2期葉山町人口ビジョン まち・ひと・しごと創生総合戦略(案) (資料4)

1 開会

事務局

定刻になりましたので、令和2年度第6回葉山町総合計画審議会を開催させていただきます。

- ・事務局より配布資料の確認を実施

臼井会長

こんにちは、令和2年度第6回総合計画審議会を開催したいと思います。よろしくお願いたします。第5回は昨年11月に開催し、そこでこの計画の基本的な部分を決めさせていただきました。本日は製本されたものもお配りできているかと思います。今日は第四次総合計画の振り返り、まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況、また、第2期総合戦略についてが議題となります。コロナの状況下ですので、簡潔に会議が進めばと思っておりますので、ご協力よろしくお願いいたします。

それでは、次第に沿って進めさせていただきます。議題(1)第四次葉山町総合計画後期基本計画について、事務局からお願いします。

事務局

- ・第四次葉山町総合計画後期基本計画策定の報告及びお礼

臼井会長

ありがとうございます。皆様の方から何かご意見はありますか。ちなみに、何年前かに地方自治法が改正され、以前は地方自治体は総合計画を必ず作りなさいというのが条文にあったが、さらに議会の承認も必要であると自治法に記載されていた。ところが、議会の承認については、数年前の法改正で必要なくなったが、法律上の根拠とは別に実態的な運用の話として、議会承認を得ている自治体が非常に多い。そういう主旨で葉山町も議会に諮っていると思います。なおかつ、作り方の問題で言うと、この審議会が諮問を受け、審議会が事務局とキャッチボールをし、精査をして、精査が終わったものを答申として出し、その答申を今度は町が判断し、町として判断したものを議会にかけるという方法が一番オーソドックスな手続きです。

逆に言うと、それまでの間、議会に明確に議会に参加を求める方法は、手続き的には必要はないのです。ところが、最後に議会の方にも理解していただいて、一緒になって計画の実施について取り組んでいくという形を作ろうとすると、計画の策定段階から議会とキャッチボールをしながら策定を進めて行った方がご理解いただきやすいということなのかと思います。特に今回は特別委員会の委員長が何回も傍聴に来てましたので、ここで委員の皆様がどのような意見を出していただいているのかを、委員長としてお聞きになっているので、非常に協力的といいますか、厳しい意見交換をさ

れていることが前提で作りに上げているということは委員長に届いたのではないかと思います。皆様のご努力に感謝申し上げます。私からもお礼申し上げます。

よろしいでしょうか。

次に、（２）令和２年度第５回総合計画審議会議事録についてです。事務局より説明をお願いします。

事務局

- ・令和２年度第５回総合計画審議会議事録について
説明省略

臼井会長

皆様の方でも修正をお願いする箇所がございましたら、事務局の方へお申し出いただければと思います。よろしく願いいたします。

次第の２の（３）です。（３）令和元年度第四次総合計画実施事業の振り返り結果についてということで、事務局から説明をお願いします。

事務局

- ・令和元年度第四次総合計画実施事業の振り返り結果について
説明省略

臼井会長

ご説明ありがとうございます。今、ご説明いただいた資料２－１から２－３について何かご質問、ご意見等ございましたらお願いします。

高梨委員

１ページ目でご説明いただいた効率性について、「選択した」という言葉の意味は何でしょうか。

事務局

この資料を作成するにあたり、各課に振り返りシートというものを作成してもらっています。その際に、令和元年度の投入資源、予算や人員等について最大の効果をもたらすよう選択しましたかという設問を設けています。その中で、各課で選択した結果をこの資料に書かせていただいております。すみません。説明が足りませんでした。

高梨委員

そういった内容を記載しておいた方が後々この資料がわかりやすいものになると思います。

それを踏まえつつ、「改善の余地がある」としながらも今後の方向性は「このまま継続」となっているものが複数あるようですが、そのあたりはどのような検討をされているのでしょうか。

事務局

おっしゃるとおり、すべてA評価であれば「このまま継続」、もし改善する必要があるであれば、「改善して継続」となるはずですが、各課とヒアリングするなかで、例えば、その部分は今後別の事業に切り離していくので、本体の事業としては「このまま継続」というケースがあったりします。

高梨委員

ありがとうございます。いずれも検討の俎上には載っていて方向性としては見えているということですね。

臼井会長

他はいかがでしょう。

はっきりとは覚えていないのですが、こういう振り返りを行うようになったのは第四次総合計画からでしたでしょうか。

事務局

もともと行政の運営状況評価するにあたり、外部評価機関、第三者評価委員会のようなものを作ってみてはどうかというお話がございました。その際は、まずは行政内部でPDCAサイクルに基づくサイクルがまわっているかどうか、それから第四次になった際に3層構造で実施計画をより計画を充実させて、それに基づいて、だいたい夏場に前年度の振り返りとして、各課にヒアリングをしております。ヒアリングをした後に、その結果を公表すべきだろうという話がございます、この振り返りの集計を行っていますが、行政がやっていることなので、事業ごとすべて廃止というものは性質上ありません。発展的に解消するという状況があったりですとか、また類似事業があってそれをひとつに統合するなどはございます。そういった形を見える化するために、こういった表を作成して公表していくという形になったのは第四次総合計画からです。

臼井会長

ありがとうございます。

守谷委員

よくわからないのですが、有効性で成果を上げたというのがほとんど、8割から9割ぐらいあるのですが、達成率がゼロでも30でも、100を越えていても成果を上げたという表記はどのような基準で成果を上げたということになっているのですか。

事務局

各課からシートをもらってヒアリングをする中で、基本施策が目指す姿を達成する手段として、この実施方法が成果を上げているかという視点で尋ねています。おっしゃるとおり、数字が高い低い、多い少ないがあるのですが、こちらは原課の判断を尊重させていただいて記載しています。

守谷委員

私がサラリーマンだった頃は、どういう効果があったかが基準で成果を上げたか表記するのですが、なぜゼロなのに成果が上がったとなるのかがちょっと理解できません。

事務局

逆に、例えばですが、達成率150%ぐらいのものでも「改善の余地がある」というものもあります。守谷委員がおっしゃるように、少し整理が必要になってくると思います。

守谷委員

そういう意味では定量評価というか、目標と期間やバランスなどを明確にし、評価すべきではないかと思います。

事務局

おっしゃる通りだと思います。同じ事業でも、早いうちに効果が出るものと、特に教育施策などについては効果が出るのに10年単位で効果がじわじわと出てくるというものもございます。一例を挙げますと、福祉課で実施している認知症予防教室などについては、予防事業ということなので、将来的に認知症を患ってしまった人がどれだけ出るかという数字をずいぶん先になって取るようになると思います。もうひとつは町民健康課の貯金運動で、かなり盛況でして、葉山体操と貯金運動を行って筋肉の量がだいぶ上がってきたという早い段階で効果が出るものも中にはございます。ですから、ひとつにおしなべて、このぐらいの年度で切って、目指そう値という指標の目標を掲げていますが、行政はこれだけたくさんの事業を抱えていますので、そこに達成するスピードがまちまちです。指標の掲げ方については、宿題のひとつだと思っています。議会の委員会の中で、例えば交通事故件数を今10件あったので、来年は3件にしようとする、3件なら交通事故があってもよいのかという話が出てきてしまう。それはゼロだろうと。

ただ、なかなか行政がコントロールできる話ではないので、交通安全の呼びかけ等をいたしますが、残念ながら事故が起きていますし、ゼロにならないという状況があれば、目指す値は達成できなかったという括りになってしまいます。やはり、事業の性質や達成するまでのスピード感がどれくらい必要なかは事業によって千差万別なので、どうやって指標に表して、着々と後戻りせず進んでいるかという指標の設定の仕方が大事です。指標の設定の仕方もこの審議会の皆様からご意見をいただいているところですが、第五次総合計画に向けて研究を重ねる必要があると考えています。

臼井会長

ありがとうございます。ご質問いただいたなかで、やりとりのあった話ですが、成果を定量的に把握する方法と定性的な評価をする方法と2通りあります。学術的な研究でも量的な研究と質的な研究とでは違いがあります。行政の目標に関して、質的な部分をどう評価するか、私が不勉強でわからないのかもしれませんが、そんなに簡単ではないだろうと思います。例えば、町民の意識に関わるようなものを目標で立てることもあるでしょう。アンケートの数値が上がったからその目標が達成したかというところと相当怪しいと思います。量に置き換えられるものは置き換える努力をすることが第1点で、それから、そうでないものについてどういう風に評価したら良いかは、それぞれの所が、そうは言っても税金を使って仕事をするのだから、その結果を皆様にちゃんと説明できるような形で振り返りをして、皆様に結果をお示しするということが大事で、そのためにはどういう風な評価方法が良いのかを考えることを含めて、町の職員の方がスキルアップしていただければと思います。民間の会社組織等であれば、目標の設定の仕方が極めてわかりやすい話となります。金額ベース、あるいは事業量のベースで目標設定ができるから数値化が非常にわかりやすいのですが、行政の場合には必ずしもそうはいかないなかで、しかしそうはいかないからといってお終いにしてしまうのではなくて、大切な税金を使って事業を実施した際にそれがどういう効果があったのかを絶えず気にしながら、より良い評価の仕方を考えることも含めて進捗管理をしていただくというのが大事なかなと思います。いい質問をありがとうございました。他にいかがでしょうか。

早川委員

私が感じたのは、現場でこの指標通りにやってみたけど違うファクターが出てきてしまっているとか、問題点が出てきてしまったということで目標値に対して成果は上げたけど改善の余地があるのではないかという意見が出たという意味なのかと私は思いましたが、そういう表なんですよ。

臼井会長

そういったことも含まれているんですよ。役所で働いていた際の話ですが、課題へのアプローチの仕方は二通りあって、その課題にダイレクトに介入する方法と、その周

辺のところを含めて総合的に方策を立てる方法があります。冷静にみんなで議論して、総合的な話と緊急でやらないといけない時は先にモグラたたきで叩いた方が良いでしょうが、これは方法を使い分けして、しかも総合的にいくのか特定の課題をモグラたたきで最優先するのは、戦略として結構大事な判断です。

高梨委員

「実施計画事業の振り返りは1年毎に行う」と明記していただいているので、1年毎に振り返る前提で評価が出来る指標になっているといいと思います。特に施策によっては5年目までは数値が低くなってしまうものなどもあると思いますから、5年目ならここ、という達成水準がわかることが望ましいと思います。量的・質的の混合アプローチでもいいと思うので、色々な人が見ても分かりやすい指標であるといいと思います。

臼井会長

ありがとうございます。他にいかがですか。

事務局

貴重なご意見ありがとうございます。実にこの第四次の総合計画の特徴として、策定時に初めて葉山町の総合計画の中で数値的な目標を立てた時のご質問でもそのようにお答えさせていただいたと思うのですが、後期基本計画策定の際にうまく反映できればいいと考えておりましたが、今後の課題となっています。ひとつの事業の中にいくつもの施策が入っていて、その中で何を選択するのが正しいのか、それが本当に基本施策が目指す姿の指標として一番良いのか、それを定量的に表すのか、定性的に表すのか、今言ったように時間を考えて何年度までどこまで実施するのか、どうやったらうまくいくのか必ず研究していきます。やはり数字はとても強いので、町民の皆様にお示しするのにも、「この数字はわかりやすいよね」という形、それがさらにお話にあるように、「進捗状況もあわせてわりやすよね」となるように研究を進めてまいります。貴重なご意見ありがとうございます。

臼井会長

ありがとうございます。他にいかがですか。ないようでしたら、総合計画の振り返りについては以上とさせていただきます。質問があったら戻って頂いて構いませんので、ひとまずここまでさせていただきます。

続きまして、議題（4）令和元年度葉山町まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況について、事務局から説明をお願いします。

事務局

・令和元年度葉山町まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況について
説明省略

臼井会長

ご説明ありがとうございました。何かご質問、ご意見ありましたらお願いします。

高梨委員

今、ご説明いただいたところですが、学校教育の数字がばらついて見えてしまうので、公開授業も含むなど、注釈がついていた方が良くかなと思いました。

臼井会長

ありがとうございます。他にいかがでしょうか。

防災メールの登録数が増えたことは喜ばしいことですが、逆に言うと事業が時代を先取りしていた形でスタートしていたということですね。実際に災害が発生して、これが使えそうだとということで利用される町民の方が増えた。事業によっては、ニーズが顕在化する前に必要に応じて先回りしておくことも有りなんだと感じさせる事例です。

あとはいかがでしょう。

守谷会長

基本目標3の1「緑の保全活動」の支援とありますが、どういう支援をしていただけるのでしょうか。

事務局

こちらは、環境課から森林を所有されている方に助成金を出ささせていただいています。それに基づいて適切に山林等の維持管理をお願いしている状況です。

守谷会長

私の町内に一色公園という公園がありまして、基本的には宮内庁の管轄のようですが、とは言え実際は町が管理をしていると思うのですが、台風以降、松枯れがとても多く、都市計画課に連絡して10数本切ってもらいました。切ったのは良いのですが、海岸の砂が上がってくるところでもあるので、また植えてもらうなどの支援はあるのでしょうか。

事務局

自己所有地の黒松が枯れて、それを伐採して、その後に抵抗性の松の苗を購入するための補助があります。今の行政が管理しているところについて、当然行政の管理下にあるということで、持ち主が例えば宮内庁であったりという状況であると、木を切

る場合も手続きが必要ですし、木を植える場合も手続きが必要になると思います。おっしゃるように、松が砂の飛散防止になることは当然ですので、やみくもに切ってしまうえば良いというものではないと思いますので、所管課の方にそういうご意見があったということで話をしておきます。小さい苗木では意味がないと思うので、成木に近いようなものが植樹できればというご意見があったと伝えておきます。

守谷会長

公園の脇の住宅の方から「砂が入って困る」とよく言われます。そこに木があれば、あまり砂が上がってこないかなと思います。御用邸の脇の道路も砂が上がっています。今まで 30 cm ぐらいあった通路と公園の段差がもうほとんどないです。そのくらい砂が上がっています。

事務局

御用邸の塀沿いもだいぶ砂がたまりますよね。町内会の方と都市計画課等と連携して砂をかきだしたり、皇宮警察も手を貸してくれたこともあったのではと思いますが、そういう取り組みも当然できた方が良いでしょうと思いますし、ご近隣にお住いの方も、生活に支障が出るような状況は良くないと思いますので考えます。どうしても急いでやなければいけないのは、松枯れした際に松くい虫がしおさい公園の松にも移るのではないかとということが考えられ、松くい虫の被害があった木はすぐに伐採しようと、枯れ始めたらもう元には戻らないので予防のために先行して切ってしまうおうという考え方もありますので、その後のアフターフォローもできるように、できるかどうかという部分も含めて所管課に確認します。

守谷会長

一色だけの話ではなくて、海岸線ほとんど同じような状況です。先日も森戸神社の宮司が困ったと言っていたので、全体として同じだと思いますのでよろしく願います。

事務局

ありがとうございます。

臼井会長

工夫してみてください。他にいかがでしょう。

三澤委員

私は民会の会社に勤めているので、目標はほとんど数字で出ているのですが、自分たちの立ち位置を確認する際に、同業他社との比較が良く出ていて、それに対してA社は3年間こういう伸び率なんだけど、当社は横ばいに来ている。これはどういった

ところが問題で横ばいなのかということから話が深化していくことがありまして、なかなか行政なので比較しにくいのかなと思うのですが、似たような環境の自治体で似たようなことが発表されていたりすると、常に比較できるような形であれば、定めた進捗に対して遅れていたとしても同じような目標を掲げていた自治体の進捗と比較すると上回っていたりすると、葉山町としては頑張っているんだなとかわかったりすると思うので、全般的に他との比較というのがないなという感じで、何かそういったものがあると、もうちょっとわかりやすくなったりするのではないかと思います。

事務局

三澤委員がおっしゃるように、比較が非常に難しいです。例えば地方自治体でどの分野に注力するかは、政策的な、首長の考えによるようなところもありますし、人口が同規模、葉山町はよく類似団体として、大磯町や二宮町が似ているということがあります。財政規模や年齢構成、例えば高齢化率が高ければ福祉施策に投じる経費が高くなりますし、昨今開発団地が増えて若年層世帯が流入してくると子育て世代が増えるなど非常に比較がしにくいです。財政構造や借金がどれくらいあるか等難しいのですが、とは言え、総合計画のアンケートを実施した際に、お金のかけ方による満足度という設問があったのですが、三澤委員がおっしゃるように、多いか少ないかわかりにくいというご意見が確かあったと思います。同等の行政規模で実施している事業もほぼ同一という何々町というところと比較すると、葉山町はこういうところにお金をかけていますと。いやいやそこにはお金をかけすぎだとか、もっと高齢者に優しい町にした方が良いとか、比較ができないと私たちが今やっている予算のかけ方による満足度はどうですかという設問はあまり意味がないかなと思いますので、そのあたりも研究させていただいて、財政構造ですとか経費負担の割合等を見定めたいうえで、具体的な自治体の名前は出せませんが、財政構造類似団体との比較によると葉山町は上回っている、下回っているなどの比較ができる調査と研究をしていきたいと考えています。ありがとうございます。

臼井会長

全部の項目を比較することは難しいでしょうね。葉山町として特徴的なものや大事だと思っている事業で比較できるものをピックアップして考えていただくと良いと思います。

高梨委員

外国の文化の理解の促進の項目で、この結果は令和元年度のものなので今まで順調に来ていたと思います。調査をされたのは去年の8月のヒアリングの際に一緒に行ったのですか？

事務局

時期は8月とは別の時期に行っています。

高梨委員

ありがとうございます。その際に、ボランティア養成講座や外国文化紹介講座が対面での実施を見越していて、令和2年度中に概ね順調でこの数字に達成するという見込をお持ちになっていたのか、あるいは何か違う方策での見込みだったのかという点と、本当に20回という目標に届くのかお伺いしたいです。

事務局

ご指摘のとおり、コロナの影響で昨年度の末からこういった講座類がほぼほぼできなくなっています。ただ、満足度で見ますと、毎回講座終了後に必ずアンケート調査をするのですが、特に親子英会話講座ではほぼ100%に近い方が満足したと回答しています。おっしゃるとおり、回数的にはこの状況をみると厳しいと正直感じています。

高梨委員

年間回数だけを指標にしているように見えてしまうので、だとすると「概ね順調」というのが、令和元年度の数字も目標の半分なのでどうなのかなと思ってしまうので、やはり気にした方が良いのかなという点と、オンラインでの開催などが本当は検討事項に入っても良いのかと思いました。

臼井会長

ありがとうございます。講座そのものであれば開催の仕方が工夫できるし、おおもとの目的がオリンピックを見に来る外国の方を意識しているものだと、そもそも必要があるかなどという話にもなるし、選手も開催してもそれほど自由に観光を楽しむような状況にならなくなってしまうでしょうから、状況が変化していることも必要に応じて、制度的なもので国が対応したという話ではなく、社会状況が変化したことでどういう状況になったかということも、ここでは非常に書きにくいでしょうが、状況によっては記載しても良いのではないかと思います。

高梨委員

特に聞き取りが令和2年の中でやっているのに、一切そういう課題が出てこなかったという文章に見えていたので、そのあたりのことが記載されていると信憑性が出るかなと思います。

臼井会長

ありがとうございます。他はいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

次に進めさせていただきます。次が（５）第２期葉山町人口ビジョン まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）についてになります。まずは事務局より説明をお願いします。

事務局

・第２期葉山町人口ビジョン まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）について 説明省略

臼井会長

ありがとうございます。一番最後のところが一番大事ですね。総合計画の中の構成事業を、まち・ひと・しごと総合戦略の枠組みに沿って組み立て直したと。ここに書いてあるのは、改めて何かをするのではなくて、総合計画から抜粋してあることだということ。なおかつ、SDGsを意識して見える形に再構成しています。いかがでしょうか。

高梨委員

一番最後の73ページの進行管理のところですが、前回申し上げたことと同じですが、チェックをするのがどのレベルでいつ実施するのかというところで、1年毎というのが総合計画にも記載して頂いているので、同じようにこちらも1年毎に見直しをするということが記載されているといいなと思いました。

それを行う前提で、先ほどの話と一緒にですが、目標も1年毎にはどうなるのかを指標としてチェックできるようになっていると良いと思います。

事務局

ありがとうございます。1年毎のチェックは必ずしていることなので、文言を入れさせていただきます。

臼井会長

総合計画と毎年セットで振り返りをするということでできればと思います。よろしくお願いします。

高梨委員

冊子になるときに字体のチェックは入りますか。行がずれてしまっている箇所があったり、44ページの項目で縦書きになっているところの横線が横のままであったりして読みにくいという箇所がありました。

臼井会長

43ページのSDGsのあとに括弧書きで「持続可能な開発目標」とありますが、この言葉は変えられますか。開発とみなさん訳しているのでよく使われますが、「development」は発展ではないでしょうか。開発する必要はないです。社会が発展していくためのもので、全盛期の遺物のような訳し方だと思います。開発ではなく発展と訳すべきだと思います。

高梨委員

本文の方で会長がおっしゃったように「SDGs とはこうです。」と葉山町の考えを記載するとカッコいいなと思います。

臼井会長

そこであえて開発という言葉を使わず発展という言葉で置き換えて説明しているとすごくカッコいい。「持続可能な開発目標」を削除して、その下の文章中で説明すればよい。

高梨委員

そうすると、葉山町はSDGsをこのように捉えて施策の中に反映していますと伝わります。

臼井会長

工夫をお願いしたい。くどいようですが、「発展」をお願いします。

高梨委員

一番最後の文章の「世界がめざす持続可能な社会の実現にも」の実現を「発展」にかえると良いと思います。

臼井会長

「Development」をどう訳すかで、発展途上国だと開発途上国と言った方が良いかもしれませんが、開発というと町を近代的な建物に建替えて道路を舗装し、産業を育成してというイメージが強いので、そうではないよと。人が住んでいる社会で、より良い社会となっていくことをめざすという意味で発展なんだと。開発ではありません。

事務局

今のお話、一番最後のくだりで、タイトルは英語表記で「SDGs」でそのまま表記させていただいて、最後の文章も「世界がめざす持続可能な社会の発展にも」と修正すればよいということによろしいですか。

臼井会長

そうです。

事務局

そのように修正させていただきます。

臼井会長

必要があればもう少し言葉を足していただいてもかまいません。

守谷委員

基本目標の1の施策4ですが、これから葉山に人を多く集めるということで、今はコロナ禍で京浜急行の女子旅を使われる方がほとんどいないのですが、私の住んでいる一色海岸ではよく道を尋ねられます。案内看板、ガイドブックの活用が書いてありますが、案内看板は今は何もないですよ。私も先々週にわっしょい葉山というラジオに出演させていただいて、その際にも葉山に海水浴で訪れる方、女子旅でいらっしゃる方がもし地震にあったとか、どういう行動をとればよいかとか、案内看板や防災のための逃げ道をもっと明確に出すべきで、私は作りたいとラジオで申したのですが、そういったことを含めて、町でも案内看板をもうちょっと整備していただきたいなと思います。コロナ禍の前は女子旅で葉山に来られる方は多かったですから。今はリモートワークの関係で、葉山は人気があがっているようなので、訪れた方にいいなと思っていただける体制を作った方が良くと思います。

事務局

一番優先すべきは、災害の時の看板なのかなと思います。私たちは、まずは町民の方に対する表記しか考えなかった状況であったのですが、東日本大震災の際に、帰宅困難者と観光地に出向いた方が思うように動きが取れなかったという経験がございます。今、守谷委員がおっしゃられたように、葉山にたまたま訪れた方に対するわかりやすいサインというものが需要だと思いますので、どこの場所にどこが主管で看板を立てるか、防災なのか観光なのかということもありますので、夏場にヒアリングを行う際に、この審議会からご意見をいただいたことを話題に出していきたいと思います。ありがとうございました。

臼井会長

ありがとうございました。サインの作り方をちょっと凝った形で統一的なデザインやコンセプトがあって、看板にその場所の紹介をするためのスペースと、そんなに大きくなくてもよいので、安全な対策のための避難経路などを記載して、町内に計画的に、時間をかけて作っていくというのはとても意味があると思います。

町が意識してデザインを統一して、プラスアルファの行政情報を追加して作成して、それを数年かけて整備していくと、出来上がった際にはとてもイメージが上がると思います。ありがとうございます。とても良いご意見です。

他にいかがですか。

高梨委員

44 ページのところの SDGs のゴールが、どの基本目標に合致するかという図ですが、項目数が少ないものがあったり多いものがあったりと、見られ方によっては軽視していると思われることを避けた方が良いと思います。また、もっとチェックがつくのではないかとと思われるものが抜けているという印象を受けるのですが、これはこのまま決定なのかさらに精査するのか教えてください。

事務局

今ご指摘いただいたところは、私も非常に悩みまして、特にトイレと水については施策がぴたっと当てはまるものがほとんどなく、若干無理やりに当て込んでいる状況です。今、パブコメをさせていただいておりますので、そういったご意見をぜひいただければと思っていますので、ぜひ委員もご意見をお願いします。

事務局

改めてパブコメをいただかなくても、総合計画審議会の委員さんから出た意見としてもう一度精査させていただいて、反映させていきたいと思っております。ありがとうございます。

高梨委員

この施策はこの目標にあてはまると思われるものがいくつもあるような気がします。ただ、町として、基本施策の地域特性をいかしたまちづくりの推進をしていくと想定すれば「産業と技術革新の基礎をつくろう」や「気候変動に具体的な対応を」も含まれるのではないかと思います。また、基本目標の2の4「新しい時代に必要な資質・能力の育成」は、もっと丸がついても良いのではないのでしょうか。若い世代にはこれらの力をもっとつけて欲しいと思うのではないかと、など町の施策と一致するかということよりも、この観点を持ってこの施策にあたりますというような形で入れ込んでおくようにしても良いのではないかと印象を受けました。

事務局

大変貴重な意見で、こういう視点を持って取り組んでいるということで、具体の施策がどうという話ではないという貴重なご意見をいただきましたので、その観点でもう一度見直します。ありがとうございます。

早川委員

1点質問なのですが、学校教育の中で男女という標記の分け方にだいぶセンシティブに扱いはじめたかなと感じていますが、難しいと思いますが、総合計画審議会ではあまりその辺は考えずにといいますか、深く追求せずに今までどおりの標記の仕方で書くという感じでしょうか。

うまく言えないのですが、会社の就職試験の際は男女の性別を書かないなど、だんだんとそういう流れになってきていますが、そのあたりはどうなのでしょう。

臼井会長

まずは事務局からコメントをいただきましょう。

事務局

コメントとして適切かどうかはわかりかねますが、総合計画を作る際の住民アンケートで集計をやはり男女でとっています。その際に議会の総合計画特別委員会の中で、男女で集計する意味があるのかというご意見はいただいております。私たちも今後配慮をしないといけないと思っており、性別は書かないような方が良いのではと思っております。

町としても男女共同参画というものがありますので、その計画を踏まえながら推進していきたいと考えています。

事務局

少し補足をさせていただくと、令和2年度は5年に一度の国勢調査がありまして、調査票に男女の別がありました。国は、男性女性の性別欄は本人が思っている方で書いていただいていた結構ですと言っていました。ただ、例えば、男性男性の2人世帯で、片方が配偶者にチェックがついていると、残念ながら国は同性同士の婚姻を認めていないというか、法整備が整っていないので、そこはエラーとして捉えさせていただきますという話でした。

日々、まだ議論がされている中で、先ほど大前が申しあげました町民アンケートでの男女別の集計についても議員からご意見をいただいて、そもそも男女の区別をする必要があるのかという話についても、他の議員からは女性がどういう傾向があるのかを知ることは大切だというご意見もありました。今申しあげられることは、やはり行政なので、葉山町だけが先行するというのは難しいというのが政策課の課長としての見解になるので、国の状況等を注視していく必要があると考えています。

早川委員

すごく難しい問題なのだろうとは思いましたが、ちょっと疑問に思ったので伺いました。

高梨委員

今のお話を伺いながら61ページの記載を見ていると、男女共同参画の推進だけど結婚を推奨しますというところもあるので、それを強く推すというのが葉山町なんですよと読み込めちゃうと、同性同士で同居することが望ましくないと考えている町という風に見えるということもあるのではないかと、早川委員のご意見を伺って思いました。男女共同参画の1番最後にあるのが結婚の話であるというのは、今後の計画の中では少し多様性を生み

出せるものがあれば良いと思います。一人でも安心して住める、同性のパートナーがいても安心して住めるというのが本当のジェンダー平等につながり、SDG s の5番目のゴールになるのではないのでしょうか。

早川委員

難しいですね。子どもがいるいないの問題もありますし。

臼井会長

難しい。町民のニーズで、男女の出会いの場が少なくとても困っているというのがはっきり表に出ているのであれば、積極的にそのニーズに答えることは必要でしょうが、ある意味、結果的に町民への価値観の押し付けになってしまう可能性もある。

高梨委員

気を付けないと、当事者ではなくて親御さんがそう思っているという保護者の立場としての意識が出てきてしまうことも考えられます。代表としてこの施策を抜き出して記載した際に目にとまってしまうとちょっと嫌かなと思いました。

事務局

おっしゃること、よくわかります。ただ、背景に、当然町の施策として作っているのですが、国・県の方針に沿って町の方もやっていて、やはり少子化対策というのが強く表に出ているというのが本音です。少子化対策をすることは間違っていないと思うのですが、その一方で子どもをつくる、産むということだけに特化されたみたいところに価値があるという風に捉えられると、同性同士はいけないのかという話になりますので、そういう部分も受け入れつつ話が出来ればと思うのですが、やはり行政計画なので、国や県の方針に沿った形で作られているというのは否めないと思います。

高梨委員

限られたこのスペースの中で、書き込まないといけないということもあると思いますので、多様な家庭を認めていて、例えば養子縁組で同性のパートナーも子どもを育てることもあり得るので、子育て支援は多様なニーズに答えて実施しているという面はあると思いますので、そういう視点も含みつつやっていますよというのを入れて、ジェンダーイコール男女が出会えるという文章はちょっと5番のゴールがそぐわないと感じました。

臼井会長

ありがとうございます。極めてデリケートな問題ですね。

あとはいかがでしょう。よろしいでしょうか。

必要なところはパブリックコメントをかけている間に精査していただいて、星取表のような図もそうですが、精査して頂くことを前提で先に進めていただきたいと思います。

それから、先ほどもありましたが、総合計画と同様に年に1回振り返りで様子をお聞かせいただいて、審議会から意見申し上げられる機会を設けていただければと思いますので、よろしく願いいたします。

その他で何かございますでしょうか。

事務局

本日もたくさんの貴重なご意見をいただきありがとうございます。令和2年度は後期基本計画の策定ということで6回という、たくさんのお時間をいただき本当にありがとうございました。

これで後期基本計画4年間、令和3年度から令和6年度までスタートさせていただくのですが、令和3年度は2回の審議会を予定しております。4年間あつという間に過ぎてしまうので、年に1度の振り返りのご報告をさせていただきながら、第五次総合計画に向けての話にもなろうかと思えます。審議会の開催時期はまだいつにするか決めてないのですが、現在の委員の皆様が令和3年の8月ということになっていますので、また改めて委員の改選、タイミング的には改選後が望ましいと思っておりますが、またご相談させていただきながら、進めさせていただきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

臼井会長

私もだいぶ慣れてきましたので、Zoomでの会議でも構いません。皆様が全員使えるかわからないのでZoom併用の会議でも良いのかもしれませんが、遠隔で参加するやり方もありかなと思います。事務局内でも議論してみてください。

最後に何かありますか。

守谷委員

葉山気候非常事態宣言が出されて5つのアクションがだされましたが、その取り組みと総合計画と進み方が違うなどあるのでしょうか。

事務局

環境に配慮した行動をすることに対する項目だけでは、総合計画から抜粋しているだけです。特に気候非常事態宣言だけ協議をして策定したものではありません。宣言を出すべきだという議会の意向もあり、鎌倉市も宣言を発出したということで、町としても発出しました。町は既にクリーンプログラムなど環境に配慮した取り組みをしていますし、1年遅れてしまったのですが、環境基本計画も令和3年度に策定する予定ですので、その指標の中に盛り込むものとして総合計画から抜粋してまとめたものですので、この審議会でご審議いただいた取り組み内容と異なるものではありません。

守谷委員

総合計画が進めば、この取り組みも自動的に進んでいくということでしょうか。

事務局

理想的に言うとそうです。

3 閉会

臼井会長

本日もありがとうございました。これで第6回葉山町総合計画審議会を終わります。ありがとうございました。

終 了